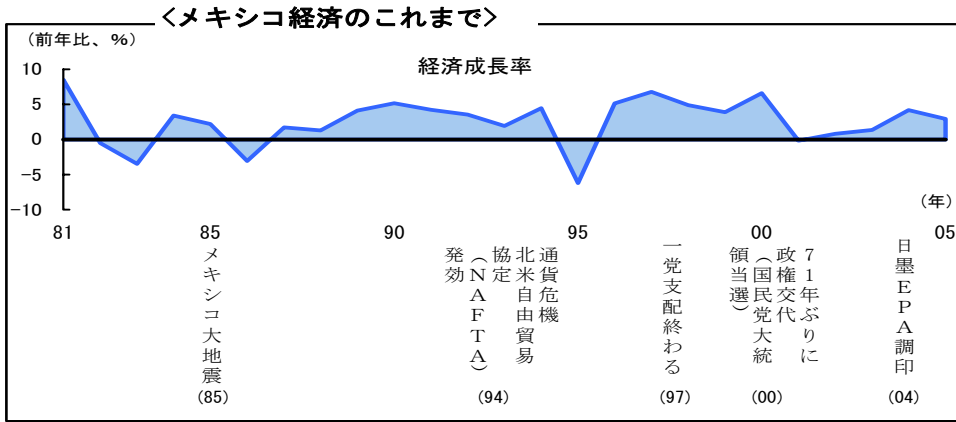


19 メキシコ

United Mexican States

<2005年>

人口	1億310万人 (日本の約5/6)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	7,459ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 4.0%	通貨	ペソ
	2次産業 26.0%		1米ドル=10.8ペソ
	3次産業 70.0%	面積	196.4万km ² (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		95～04年	2005年	2006年			2007年			民間機関
				政府	OECD	IMF	政府	OECD	IMF	
実質GDP	前年比%	2.7	3.0	3.6	4.1	4.0	3.6	3.7	3.5	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.9	1.5	-	-	-	-	-	-	2006年
消費者物価	同上	15.3	4.0	3.0	3.7	3.5	3.0	3.0	3.3	平均 4.2
失業率	%	3.7	3.6	-	-	-	-	-	-	最大 4.7
経常収支	億米ドル		▲46	-	-	-	-	-	-	最小 4.0
(GDP比)	%		(▲0.6)	(2.2)	(▲0.7)	(▲0.1)	(2.5)	(▲1.1)	(▲0.2)	2007年
財政収支	億米ドル		▲9.4	-	-	-	-	-	-	平均 3.4
(GDP比、年度)	%		(▲0.1)	-	-	-	-	-	-	最大 3.9
政府債務残高	億米ドル		1,717	-	-	-	-	-	-	最小 3.4
(GDP比、年度末)	%		(22.3)	-	-	-	-	-	-	(23社)

(備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF“International Financial Statistics”による。
見通しの政府はメキシコ財務省“Economic Policy Guidelines for 2006”(2005年9月)等、
OECDは“Economic Outlook”(2006年5月)、IMFは“World Economic Outlook”(2006年9月)による。
2. 財政収支は、一般政府。
3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

<2006～2007年の経済>

2006年前半の経済成長率は、1～3月期に前年同期比5.5%増、4～6月期は同4.7%増となり、05年から加速した。自動車を中心とした輸出が拡大していることに加え、内需も消費、設備投資がともに堅調であることから、06年全体の成長率は4%程度と予想されている。また、内政面では、司法の判断に委ねられていた大統領選(7月)の結果、前フォックス政権の改革路線の継承を唱えるカルデロン氏の当選が9月に確定し、国内経済界、国際金融界ともに歓迎を示している。

2007年のメキシコ経済は、経済面で結びつきが強いアメリカ経済の成長が緩やかになることに伴い、成長率が鈍化するものとみられ、3%台半ばの成長が見込まれている(IMF見通し3.5%(06年9月)、民間機関23社の平均3.4%(06年10月))。